

ボランティア講習会が開催されました。

まだまだ酷暑が続く、8月25日（金）に今年度最初のボランティア講座が開催されました。今回は、ボランティア活動に関わりの深い緩和ケアについて、藤里病院院長に「緩和ケアと音楽療法」について、ギターと歌の演奏を交えてお話をいただきました。現在、活動をしているのは、外来案内（車椅子介助と初診、入院の窓口への案内）図書（病棟ラウンジの書架）、緩和でのアロマセラピー、

ティーサービス、サポート、ピアノ演奏の方々。無料で

配布しているタオル帽

子・布帽子・尿パックカ

バー・ストマーカバーな

どのケアグッズを自宅等で製

作してくささっている方々にお集まりいただきました。

約20名の参加者のみなさんからは「緩和医療の基礎知識が得られて、勉強になりました。」「歌声が心にしみま

した。」「私たちの活動がボランティアを受ける側もす

る側もレジリエンスを向上させることに繋がっていただければいいと思いました。」「音楽療法は初めて知りました。がんセンターの取り組みはとても素晴らしいと思いました。」とのご意見・感想をいただきました。今後学びたい事として、最新の医療・治療情報が知りたい。具体的な事ではありませんが、定期的に情報交換の場を作ってほしい。ケアグッズを作製している方からは、どんなケアグッズが欲しいかの情報を頂きたいとの意見もいただきました。最後にグループに分かれて、普段感じていることなどを出し合い、とても有意義な時間を持つことができました。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。今後も患者さんやご家族に、静かに寄り添える活動になるように、学びつつ続けられたらと願っています。

